

伊藤小坡 画家。京都にあって、歴史画、美人画を得意とし、四条派の画統を伝えた。

いとうしょうは

西南戦争・1877 = 三重県伊勢で、猿田彦神社宮司宇治土公貞幹の長女に生まれる。本名さと(佐登)。

明治14年政変1881 = 4歳：

幼少から画をよくし、

帝国大学始・1886 = **9歳**：

帝国憲法発布1889 = 12歳：

大津事件・1891 = 14歳：この頃から、**新聞小説の挿絵を模写し始め、**

日清戦争始・1894 = 17歳：

日清戦争終・1895 = **18歳**：この頃、**郷土の画家磯部百麟に師事して、日本画を学び、歴史人物を好んで描く。**

子規句歌革新1898 = 21歳：**画家になることを決意、京都に出て森川曾文に教えを乞い、**

びろ国産化・1900 = 23歳：曾文が病で倒れたため、谷口香矯の門に入り、香矯から小坡の号をうける。

教科書疑獄・1902 = 25歳：曾文が死去。

日比谷公園・1903 = 26歳：**第5回内国勸業博覧会に「伊賀の局」出品。**

日露戦争始・1904 = **27歳**：

日露戦争終・1905 = 28歳：同門の伊藤鷲城と結婚、

満鉄発足・1906 = 29歳：長女を出産。

韓国併合・1910 = 33歳：次女を出産。

明治天皇没・1912 = 35歳：

大正政変・1913 = **36歳**：

第一次大戦始1914 = 37歳：三女を出産。

21ヶ条要求・1915 = 38歳：師谷口香矯が死去。***第9回文展に「制作の前」が初入選で3等賞、一躍脚光を浴び、**

民本主義・1916 = 39歳：**第10回文展で「つゞきもの」が入選。**

ロシア革命・1917 = 40歳：**貞明皇后の御前で揮毫、**

本格政党内閣1918 = 41歳：**第12回文展で「ふたば」が入選。**

ペルシヤ条約・1919 = 42歳：京都の反帝展団体である日本自由画壇の結成に参加したが、

大暴落・1920 = 43歳：竹内栖鳳の勧めで脱退し、帝展に復帰。**第2回帝展で「夏」が入選。**

原敬首相暗殺1921 = 44歳：**第3回帝展に「琵琶記」を出品、平和博覧会美術展で「待たる楽しみ」が3等賞となる。**

水平社結成・1922 = **45歳**：***「琵琶記」は、日仏交換美術展にも出品され、フランス政府買上げ、リュクサンブール美術館に収蔵。**

共産党事件・1928 = 51歳：**かねて尊敬する竹内栖鳳の画塾に入り、第9回帝展で「秋草と宮仕へせる女達」が入選、到達を見せ、**

世界恐慌・1929 = 52歳：**第10回帝展で「秋好中宮図」が入選、**

海軍軍縮条約1930 = 53歳：**第11回帝展で「伊賀のつぼね」が入選、**

満州事変・1931 = **54歳**：***第12回帝展には名作「春日詣」画入選、注目目的となり、以後、無鑑査となる。**

帝人疑獄事件1934 = 57歳：京都美術倶楽部で「伊藤小坡展」開催される。

日中戦争始・1937 = 60歳：京都日日新聞夕刊一面に、日本初の多色刷りで「麗春」が掲載される。

第二次大戦始1939 = 62歳：第3回新文展に「神詣」、

大政翼賛会・1940 = **63歳**：

日米開戦・1941 = 64歳：

・・・・・・1942 = 65歳：第5回新文展に「乳人」を出品。この年、師竹内栖鳳が死去。

敗戦・1945 = 68歳：

戦後も、招待作品が続き、

三大事件・1949 = **72歳**：

独立回復・1951 = 73歳：

インスタラメン・1958 = **81歳**：***「鶴ヶ岡の舞」が最後の作品となって、**

霧ヶ岡ビル・1968 = 91歳：**没した。**

時代風俗をふまえた美人画で、官能的な画風であった。

インターネット、